



# 県議会 とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755  
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/  
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



△1月19日に県議会議事堂において開催された「いちご王国・栃木の国」イベントのセレモニーの様子

## 第404回通常会議(令和6年12月10日～12月26日)

### 一般会計補正予算、栃木県水と緑の南摩の里設置及び管理条例の制定など49議案を可決

#### 可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

- 令和6年度栃木県一般会計補正予算(第5号)  
移住支援金や奨学のための給付金の支給に要する経費の追加計上等を行うための予算です。
- 令和6年度栃木県一般会計補正予算(第6号)  
国の総合経済対策に呼応し、物価高騰による家計負担の軽減や、中小企業者、農業者、交通事業者等に対する支援等を行うための予算です。
- 栃木県水と緑の南摩の里設置及び管理条例の制定について  
栃木県水と緑の南摩の里を鹿沼市に設置するための新たな条例を制定することとしました。
- 障害者の利用に係る公の施設の使用料等の免除に関する条例の一部改正について  
県が観覧に供するために設置した公の施設の使用料等の免除の対象となる者の範囲を拡大するため、条例の一部を改正することとしました。
- 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の一部改正について  
災害時や感染症まん延時における医療体制の確立や、オーラルフレイル(口腔機能の衰え)等の新しい概念等を条例に位置付け、県民の更なる健康の保持増進、健康寿命の延伸に寄与できるよう、条例の一部を改正することとしました。

#### 可決された意見書と概要

- 「年収の壁」に関する丁寧な議論と地方財政への十分な配慮を求める意見書  
「年収の壁」の見直しに当たっては、丁寧な議論を行い、地方の意見を十分に反映させ、所要の措置を講じること等を国に要望することとしました。
- 社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書  
社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成を継続することを国に要望することとしました。
- インターネット、SNSを利用した犯罪被害の防止対策を求める意見書  
国民を被害に遭わせないための対策の強化や、「闇バイト」等情報に関する情報収集やSNS等からの削除、取締り等を推進すること等を国に要望することとしました。



▲第404回通常会議(12月26日)の様子

#### 請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、請願・陳情2件が不採択となりました。

## とちまるくんのなるほど! 県議会 ~県政ミーティングの様子を紹介するまる!!~

今回は、とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を高め、理解を深めてもらうための主権者教育の一環となるよう実施した「~とちぎの未来を考える~栃木県議会 県政ミーティング」の様子を紹介します。

#### さくら清修高校(令和6年7月9日開催)

- 生徒:2年生(約240名)
- 議員:日向野義幸議長、中島宏副議長、土屋晃子議員、佐藤晴彦議員、沼田邦彦議員、池上正美議員、小林達也議員、板橋一好議員



#### 【意見交換】



生徒:子育てしやすい環境の整備により移住者増加につながると感じます。  
議員:結婚支援、妊娠・出産支援、移住・定住促進策などの充実に取り組んでいきます。

生徒:私たち高校生の意見を県に直接届けられる場を更に作ってほしいです。  
議員:県政ミーティングに加え、請願・陳情のほか、議会広報紙での質問受付もありますので、意見を是非届けてください。

生徒:県として、近年の夏の異常な暑さへの対策をどのように行っていますか。  
議員:2050年カーボンニュートラル実現に向けて取り組んでおり、県民の皆さんとも協力し実現を目指します。

生徒:遠方から通学している生徒も多く、本市にもLRTを通せませんか。  
議員:国や市町とも十分連携し、通学しやすい環境づくりに努めていきます。

#### 【全体のまとめ】



日向野議長:皆さんからの提案をしっかり受け止め、可能なものから具現化していきたいと考えています。若い世代のエネルギーが時代を動かすので、今後も、皆さんの声を県議会に届けてください。



#### 生徒の皆さんへのアンケートの結果から

- ・栃木県の将来や政治についての関心が高まりました。
- ・今後も県へ声を届けたいと思います。
- ・自分たちでも政治に意見を反映させることができることが分かりました。
- ・議員の方々が私たちの要望にも真剣に答えていただき、ありがたかったです。

#### 宇都宮清陵高校(令和6年11月26日開催)

- 生徒:1,2年生(約360名)
- 議員:日向野義幸議長、中島宏副議長、大久保ゆみ議員、星雅人議員、小池篤史議員、小菅哲男議員、五月女裕久議員



#### 【意見交換】



生徒:県産農産物の安定供給や地産地消の推進に向けた取組を教えてください。  
議員:気候変動に対応した新品種の普及や学校給食での地産地消への支援などに取り組んでいます。

生徒:県内に多くある文化遺産の保護・整備をどのように行っていますか。  
議員:文化財保存活用大綱を策定しており、活用も含め積極的に取り組んでいきます。

生徒:発生が予測される南海トラフ地震等の災害にどのように備えていますか。  
議員:県に危機管理防災局を設置したほか、県地域防災計画を策定しており、引き続き防災・減災対策に努めます。

生徒:農業の後継者不足の課題に対し、何か対策は考えていますか。  
議員:新規就農者への支援や、スマート農業の推進に取り組んでいます。

#### 【全体のまとめ】



日向野議長:「暮らしていて良かった」と思われる栃木県をつくっていききたいと考えていますので、皆さんにも、政治や行政に関心を持っていただきたいと思います。



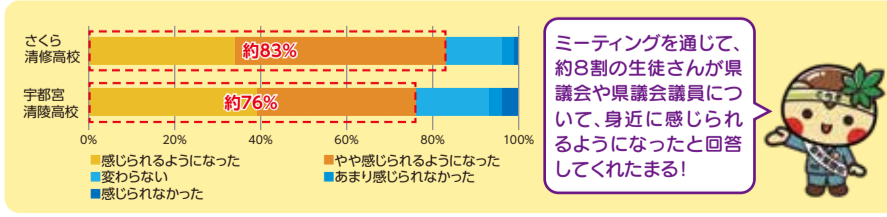
#### 生徒の皆さんへのアンケートの結果から

- ・地域に関する取組や今後の栃木県の課題について、関心が高まりました。
- ・政治に対する知識が高まり、きちんと選挙に行こうと思いました。
- ・栃木県の政治が身近なところで行われていることが分かり、安心できました。
- ・思っているよりも議会が身近なものと実感できました。

宇都宮清陵高校を訪問し、議員と生徒の皆さんとの熱のこもった意見交換を見学させていただきました!



栃木県議会ナビゲーターの永井壘さん▲



ミーティングを通じて、約8割の生徒さんが県議会や県議会議員について、身近に感じられるようになったと回答してくれたまる!



動画(県議会ハイライト:令和7年2月2日放送)はこちら↓



開催結果報告書はこちら↓  
2月12日公表(予定)





# 《第404回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

## 代表質問 (12/12)

きむら よしふみ  
**木村 好文**  
(とちぎ自民党)  
[足利市]




### ○「未来への投資」の実現に向けた6期目の県政運営

**問** 5期20年の経験をどのように生かし、どのような決意を持って6期目の県政運営を行っていくのか伺います。

**答** 【知事】5期20年の経験と、この経験を通じて深められた多くの方々との信頼関係は、県政課題の解決に向けた大きな推進力になると考えており、今回政策集に掲げた、本県の未来創生に向けた各施策を次期プラン※1に適切に反映させ、スピード感を持って、最大の成果を上げることを目指し、取り組んでいきます。

県民の思いに応えるため、引き続き先頭に立って各施策を着実に推進し、「誰もが未来に夢や希望の持てる栃木・豊かさと幸せを実感できる栃木」の実現に向け、全身全霊で取り組んでいきます。

### ○次の時代を担う人づくり

**問** 本県は、人づくりに適した素晴らしい環境を備えており、世界で輝く人材を数多く輩出して本県の存在を示す、人づくりの県とちぎ、なりたい自分になれるとちぎを目指してほしいと考えます。

次の時代を担う人づくりに使命感を持って取り組んでいくことが重要であると考えますが、今後とちぎの教育にどのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【教育長】STEAM教育※2の推進等探究的な学びの充実や児童生徒に寄り添った支援にも注力し、誰一人取り残さない学びの充実を図っていきます。

人づくりこそが次の時代を切り拓く原動力であるという矜持を持って実効性の高い施策を検討し、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びの実現に努めていきます。

#### このほか

未来を担う若者の応援、地方創生の進化など

## 代表質問 (12/12)

やまぐち つねお  
**山口 恒夫**  
(公明党)  
[宇都宮市・上三川町]




### ○LRT西側延伸における県の役割

**問** 芳賀・宇都宮LRT事業の西側延伸に関して、宇都宮市、鉄道会社、県で、幹線鉄道へのLRTの乗り入れに関して協議を進めていくとのことですが、

西側延伸に関して県の役割をどのように考え、協議にはどのように臨むのか、所見を伺います。

**答** 【知事】東側整備と同様の手続や技術的な支援はもとより、その他の支援についても、宇都宮市の考えを聞きながら県としての役割を果たしていきます。

LRTの導入効果を県全域に波及させるためには、まちづくりと連携した東武宇都宮線とLRTとの交通結節機能の強化が重要と考えており、県が主体となって市や鉄道会社との話し合いの場を設けます。

### ○県立病院の総合病院化に向けた取組

**問** 専門機能に特化した県立病院であるがんセンター、岡本台病院、リハビリテーションセンターを取り巻く状況は、設立時と大きく変わり、多くの県民が高度救命救急センターの設置や総合病院化を望んでいます。

県立病院の再整備に合わせ、総合病院化を視野に入れた検討をしてはどうかと考えますが、所見を伺います。

**答** 【知事】施設の老朽化が顕著ながんセンターと岡本台病院については、再整備に向け県と病院とで施設の在り方について検討中です。

地域医療構想や、救急医療提供体制の充実に向けた検討の結果などを踏まえ、県立病院が果たすべき役割を明確にして、再整備の在り方や進め方を検討していきます。

#### このほか

人口減少対策～栃木県人口未来会議(仮称)の設置～、脳脊髄液減少症など

## 代表質問 (12/12)

こいけ あつし  
**小池 篤史**  
(民主市民)  
[宇都宮市・上三川町]




### ○「文化と知」の創造拠点整備構想

**問** 立地場所やアクセスの問題、人材育成等の課題があるが、どのように整備を進めていくのか伺います。

また、財源確保等に懸念がありますが、安易にPFIの手法を採用するのではなく、中長期的な見通しの下、できる限り県の直営とし、その責任を担うべきと考えますが、併せて所見を伺います。

**答** 【総合政策部長】アクセス性の向上やデジタルの活用、地域産業・観光事業との連携等に配慮しながら詳細な検討を行い、着実に整備を進めていきます。

また、PFI等導入可能性調査で事業手法を検討しており、併せて施設運営については、直営と民間委託を組み合わせた手法も含め、今後、具体的な検討を進めていきます。

### ○県職員の人材確保

**問** 県職員の人材確保、育成は県政運営の根幹をなすものですが、大卒程度行政職の合格倍率は年々低下しており、職種によっては採用予定者数に満たない状況にあります。

若い人たちに公務員という職業を選択肢に入れてもらうため、公務員の仕事を理解してもらうとともに魅力ある職場づくりが必要であると考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【経営管理部長】今後新たに、高校生などより幅広い年齢層を対象に、県庁で働く上での疑問や不安などを希望の日時に気軽に相談できる制度を創設したいと考えています。

職員一人ひとりが活躍できる職場づくりに努め、県庁が学生等から選ばれ、有為な人材を確保できるよう取り組んでいきます。

#### このほか

知事の政治姿勢、特別支援教育の充実など

## 一般質問 (12/12)

かとう ゆうじ  
**加藤 雄次**  
(とちぎ自民党)  
[日光市]




### ○奥日光地域へのアクセスの強化

**問** 訪日外国人観光客などが今後増えることが予想される今、日光の持つポテンシャルを最大限発揮するためにも、奥日光地域へのアクセスを強化すべきと考えます。

そこで、奥日光地域へのアクセスの強化に今後どのように取り組んでいくのか、所見を伺います。

**答** 【知事】魅力あふれる日光の観光周遊を促進するためには、環境にもやさしい新たなモビリティ※3を導入し、奥日光地域への人や物の流れを円滑化することが重要であると考えています。

まずは、地元の日光市と交通事業者である東武鉄道を含めた検討会を設置し、具体的な議論をスタートさせることとしており、環境に配慮した新たな公共交通システムの構築に取り組んでいきます。

### ○魅力と活力ある県立高校づくりの推進

**問** 今般策定された第三期県立高等学校再編計画により、日光アイスバックスなどに多くの名選手を輩出する日光明峰高校が今市工業高校とともに今市高校と統合されることとなりましたが、統合後の新校における魅力と活力ある学校づくりの推進にどのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【教育長】スポーツ、工業、福祉に関する科目のほか、大学進学等に対応する科目の開設など、生徒の幅広い興味・関心や進路希望に応える教育を展開し、一人ひとりの自己実現を目指していきます。

また、地域の活性化に貢献できる人材の育成につながるよう、世界に誇る観光資源を生かした学びや地域住民等との連携協働を通して課題を探究する学び等の更なる充実も図っていきます。

#### このほか

植樹400年を迎える日光杉並木街道、国道121号文挾バイパスの整備など

## 一般質問 (12/16)

ことより まさお  
**琴寄 昌男**  
(とちぎ自民党)  
[栃木市]




### ○3歳児から5歳児における幼稚園等の副食費※4

**問** 幼稚園等において、3歳児から5歳児の副食費については、一部を除き実費負担とされています。

知事は、小中学校の給食費の無償化への取組など子育て世代の負担軽減の推進を掲げており、副食費についても給食費と同様に今後市町と議論を進めていく必要があると考えますが、所見を伺います。

**答** 【保健福祉部長】子育て世代の負担軽減については、限りある財源のもとで、副食費の無償化等も含めた様々なアイデアの中から、より効果的な方策を検討していくことが必要であると考えています。

今後とも、市町と協議しながら子育て支援の充実を図っていきます。

### ○県立学校を通した「人への投資」～県立高校への国際バカロレアの導入～

**問** 県教育委員会は、国際バカロレア(IB)※5についてどのように評価しているのか、また、特色ある県立学校づくりの実現には、将来的にIB導入が不可欠と考えますが、所見を伺います。

**答** 【教育長】国際バカロレア(IB)では、創造的な思考力や課題発見・解決能力など、グローバル社会に適應した資質能力の育成が期待できます。

一方、外国人教員の継続的な雇用など乗り越えるべきいくつかの課題も見てきたことから、導入可能性の検討を進めながら、幅広い視点で学びの充実を図り、県立高校の特色化・魅力化に努めます。

#### このほか

LRTを軸とした公共交通網の広域ネットワーク化、ベトナムとの交流強化など

## 一般質問 (12/16)

のむら せつこ  
**野村 せつ子**  
(共産党)  
[宇都宮市・上三川町]




### ○PFAS※6 汚染から環境と健康を守るために

**問** 発がん性が指摘される有機フッ素化合物PFASが、県内の井戸水において地下水の暫定指針値を超えて検出されました。

河川や地下水など環境中のPFASの全体的な調査及び汚染源の特定が急がれる中、県は、自主的な検査を計画していることですが、従来の想定範囲や検査箇所数を大幅に増やす必要があり、そのための補正予算の編成も必要ではないかと考えますが、見解を伺います。

**答** 【環境森林部長】県内の水道事業は、全て暫定目標値を下回っています。

また、地下水や河川の調査は、毎年実施している水質測定と併せて行うことで、効率的に実施できると考えています。

### ○学校給食費の無償化

**問** 現在、学校給食費の保護者負担額は家計を圧迫しており、県民も自治体も負担軽減を切望していることから、直ちに事業化を進めるべきです。

県として保護者が負担している食材費の財政支援が必要と考えますが、知事の決意と、スケジュールや予算規模などを伺います。

**答** 【知事】学校給食費無償化への取組は、栃木の未来を担う子どもたちの健やかな成長を保障するためにも、大きな意義があると考えております。

一方で、学校給食費無償化は、多額の財政負担が伴うところであり、市町の意見も聞きながら、実施の時期や手法、予算の規模等、市町と合意できる仕組みについての協議に向け準備を進めます。

#### このほか

ジェンダー平等の栃木県～ジェンダー視点で次期プランの作成を～、特別支援教育の充実と寄宿舎教育など

用語解説

※1 次期プラン: 県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」及び本県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」である「とちぎ創生15戦略(第2期)」の計画期間(～令和7年度)後のプラン  
 ※2 STEAM教育: 各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育  
 ※3 モビリティ: 人や物を運ぶ交通・移動手段のこと。

※4 副食費: 給食費のうち、ご飯やパンなどの主食以外のおかず、おやつ等の費用  
 ※5 国際バカロレア(IB): グローバル人材を育成するための教育プログラムで、所定の成績を収めることにより国際的に認められる大学入試資格を得ることができる。  
 ※6 PFAS: 約1万種類あるといわれている有機フッ素化合物の総称で、その中の一部の物質で発がん性が指摘されている。



# 《質疑・質問日 令和6年12月12日、16日、17日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

## 一般質問 (12/16)

すぎた ひかる  
**杉田 光**  
(とちぎ自民党)  
[足利市]



### ○オーラルフレイル<sup>※7</sup>対策

**問** オーラルフレイルは、放置すると要介護状態への移行や死亡のリスクが高まるため、予防等に取り組むことが重要です。

しかし、その認知率等は非常に低い状況にあるため、オーラルフレイル予防等のために必要な措置を講じること等を盛り込んだ「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」の改正を契機に、普及啓発等の取組を強化する必要がありますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【保健福祉部長】高齢者の口腔ケアの実態等の把握に努めるほか、オーラルフレイル予防アドバイザーを活用した、セルフケアによる口腔機能の維持向上を図るなど、各種施策を推進するとともに、関係機関や市町等と連携したオーラルフレイル対策などの歯と口腔の健康づくりに取り組んでいきます。

### ○防災・減災、県土強<sup>じん</sup>靱化の更なる推進

**問** 災害が頻発化・激甚化の一途をたどる中、県では、栃木県国土強靱化地域計画に基づき取組を進めていますが、最近の災害で明らかになった課題等を十分に踏まえた上で、取組を更に強化していく必要があります。

取組を加速させ、「安心なとちぎ」を実現することは、本県への移住・定住の促進などにもつながると考えますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【知事】来年度改定予定の栃木県国土強靱化地域計画について、近年の災害から得られた教訓等を踏まえて見直しを行うとともに、政策集に掲げた取組項目も適切に反映させたいと考えており、県民の生命を第一に考え、「安心なとちぎ」の実現に向け、全力で取り組んでいきます。

#### このほか

救急医療提供体制の充実・強化、金属盗被害の防止など

## 一般質問 (12/16)

こばやし たつや  
**小林 達也**  
(とちぎ自民党)  
[那須塩原市・那須町]



### ○首都機能のバックアップ機能の強化

**問** 県は、平成19年から、国会等移転のワンステップとして、多様な機能を有する「キャンプ那須<sup>※8</sup>(仮称)」の整備について、毎年、国に対して要望を行っていますが、具体的な動きは見られません。

首都機能のバックアップ・キャンプ那須構想の早期実現に向け、積極的に声を上げていくべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【知事】県では、国会等移転の議論の再開やキャンプ那須の整備について国に働きかけてきたほか、中央省庁等の地方移転の推進について、要望を続けています。

今後も、社会機能の地方への分散移転を働きかけるとともに、必要な社会基盤の整備など、災害時の首都機能のバックアップ機能の強化に努めていきます。

### ○カスタマーハラスメント<sup>※9</sup>対策

**問** カスタマーハラスメントは大きな社会問題となっていますが、県内事業者のカスタマーハラスメント対策は遅れている実態が浮き彫りになっています。

人材は事業活動の要であることから、従業員が安心して働ける職場環境を確保するため、カスタマーハラスメント対策に努めていくべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【産業労働観光部長】県では、ハラスメント対策のセミナーを開催するほか、国が作成したマニュアル等により防止措置を講じるよう企業等に助言しています。

ハラスメントのない職場や社会に向けた機運の醸成、企業の取組支援等を盛り込んだ、新たな条例の制定を検討するとともに、誰もが安心して働くことのできる職場環境づくりに取り組んでいきます。

#### このほか

閑散期の観光振興、酪農振興など

## 一般質問 (12/17)

よこた まこと  
**横田 誠**  
(とちぎ自民党)  
[左野市]



### ○安心して結婚や子育ての望みを叶えられるとちぎの実現に向けて～結婚支援センターの機能強化と結婚支援の取組の充実～

**問** 縁結びの場として行政における結婚支援の意義は、より一層高まっていくと考えますが、結婚支援センターの機能強化と結婚支援の取組の充実を今後どのように進めていくのか伺います。

**答** 【生活文化スポーツ部長】とちぎ結婚支援センターにおいて、出会いから成婚まで円滑に進むよう、マッチングシステムの機能強化を図るとともに、交際を丁寧にサポートするなど、伴走支援を行います。

若者がライフデザインを考える機会を提供するとともに、センターの支援へとつなげていくことで、若者の結婚の希望を叶えとちぎの実現を目指します。

### ○医療的ケア児のレスパイトケア<sup>※10</sup>

**問** 医療的ケア児のレスパイトケアは、養育者の心身の負担の軽減を図り、日常生活及び社会生活を送るための重要な支援の1つと考えられることから、積極的に取り組むべきと考えますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【保健福祉部長】医療的ケア児がより身近な地域で必要な支援を受けられるよう、市町によるきめ細かなニーズの把握や医療機関に参入を働きかけるなど、医療型短期入所サービスの充実に取り組んでいます。

今後とも、市町等と連携しながら、医療的ケア児及びその家族が安心した生活を送ることができるよう環境づくりに努めていきます。

#### このほか

特別支援学校におけるICT機器の活用推進、グローバルに活躍できる子どもを育成するための英語教育など

## 一般質問 (12/17)

よこまつ もりと  
**横松 盛人**  
(栃木の会)  
[宇都宮市・上三川町]



### ○社会的孤立や孤独への対策

**問** 国の機関の推計によると、2050年には本県においても単独世帯が約4割となることを見込まれており、社会的孤立や孤独のおそれがある方を早期に発見し支援機関等につなぐことが重要と考えますが、対策をどのように進めていくのか伺います。

**答** 【保健福祉部長】望まぬ孤独や孤立の予防や支援に当たっては、当事者等の立場に立ちつつ、社会全体で総合的に取り組むことが重要です。

このため、市町や各社会福祉協議会、地域住民、NPO法人や社会福祉法人等の関係団体による連携・協働体制の構築や各市町で進めている事業の支援等に取り組んでいます。

### ○県立高校における外国人生徒等への支援の充実

**問** 外国人生徒等の指導・支援に当たっては、高等学校入学者選抜の在り方なども含めて特別な対応が必要な状況ですが、受け入れ態勢が十分とは言い難いと感じます。

受入れと支援の充実にどのように取り組むのか伺います。

**答** 【教育長】入学者選抜において、受検科目の一部免除や問題にルビ振り等を行うとともに、日本語指導が必要な生徒が入学した学校に支援員を配置してきました。

これらの取組を通して得た成果や課題については、引き続き改善を図り、特に入学者選抜については、令和9年度からの新制度に向けて受検資格の基準など受検上の配慮を検討してまいります。

#### このほか

「文化と知」の創造拠点整備の課題、今後の救急医療提供体制など

## 一般質問 (12/17)

わたなべ のりよし  
**渡邊 典喜**  
(民主市民)  
[宇都宮市・上三川町]



### ○特別支援学校を子どものための福祉避難所<sup>※11</sup>として確保する取組

**問** 令和6年能登半島地震において、知的障害がある子を持つ保護者が、一般の避難所では迷惑をかけてしまう懸念から車中泊等をしたと聞きました。

発災時に福祉避難所として利用できる県内の特別支援学校を今後増やしていくべきと考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

**答** 【危機管理防災局長】市町に対し、特別支援学校が在校生やその家族が避難するための福祉避難所となり得ることを周知するなど、特別支援学校の在校生等の避難先について検討を促していきます。

また、市町から特別支援学校の利用の要請があった場合には、施設管理者と調整するなど、福祉避難所の確保に努めていきます。

### ○高等学校入学者選抜におけるLD<sup>※12</sup>への合理的配慮

**問** 本県の高等学校入学者選抜におけるLDへの合理的配慮の提供の取組について、また、入学者選抜で合理的配慮の提供を受けられるかどうか不安を抱えている生徒・保護者がいるという現状について、どのように対応していくのか、所見を伺います。

**答** 【教育長】障害のある志願者が、県に希望する配慮事項等を申請した場合には、志願先の高等学校と合意形成を図りながら、個別の状況に応じてルビ振りや時間延長等の合理的配慮を行っています。

今後は、保護者や教員等の理解促進を図るため、申請方法や配慮事例等に関する情報をホームページ等で発信するほか、小・中・高等学校の教員を対象とした研修の充実にも努めていきます。

#### このほか

戦争の記憶の継承、外国人介護人材の確保など

## 一般質問 (12/17)

かみや ゆきのぶ  
**神谷 幸伸**  
(とちぎ自民党)  
[鹿沼市]



### ○福田知事6期目の県政運営～本県の医療提供体制の整備～

**問** 医療機関へのアクセスが難しい地域に住む方々が、救急医療も含め、適切に医療を受けられることも重要です。

今後、本県の医療提供体制をどのように整備しようと考えているのか伺います。

**答** 【知事】医療需要の変化に対応するため、医療機能の連携や集約に加え、在宅医療や医療・介護連携の強化を図りつつ、持続可能な医療提供体制の確保を目指します。

また、若手医師の確保・育成について、大学や医療機関と連携し、地域枠制度の充実等に取り組んでいます。

さらに、質の高い医療を効率的に提供する観点から、医療DXの活用など、必要な医療機能の確保に努めます。

### ○県西部地域における道路ネットワークの整備

**問** 国道293号楡木バイパスの整備について、現在の未整備区間には、東北自動車道との立体交差工事が必要な箇所がありますが、整備の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

また、南押原地区でのスマートインターチェンジ(IC)について、国や関係機関と連携し、整備を支援すべきと考えますが、今後の見通しについて伺います。

**答** 【県土整備部長】楡木バイパスの整備については、立体交差工事に向けて設計を委託しており、引き続き、用地取得を進めるなど、事業推進に努めます。

また、スマートICの整備については、防災・減災、県土強靱化などの効果が期待されますので、広域道路網の在り方を含め、鹿沼市の考えを聞いてまいります。

#### このほか

福田知事6期目の県政運営～政策実現に向けた知事の意気込み、男性も女性もともに活躍できる栃木の実現～など

※7 オーラルフレイル：口腔機能の衰えであって、適切な対応により機能回復が可能な状態  
※8 キャンプ那須：外国の政府首脳と会談を行う迎賓施設や、大規模地震等に備える危機管理機能を有する施設等を那須地域に整備する構想  
※9 カスタマーハラスメント：顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為  
※10 レスパイトケア：在宅で介護をしている家族が休息を取れるようサポートを行うサービス  
※11 福祉避難所：高齢者や障害者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるため、災害時に必要に応じて開設する避難所  
※12 LD：全般的に知的発達に遅れはないが、「読む」「書く」等の学習に必要な基礎的な能力をうまく発揮することができないこと等によって、学習上、様々な困難に直面している状態



# 常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第404回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和6年度一般会計補正予算(第5号・第6号)関係議案等)について、12月19日に審査及び採決が行われました。

## ●県政経営委員会

付託議案: 栃木県手数料条例の一部改正について、職員の給与に関する条例等の一部改正について等 10件

委員からは、私立学校の学校給食費に対する支援や知事等の給与について意見が出されるなどしました。



## ●生活保健福祉委員会

付託議案: 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の一部改正について等 4件  
報告事項: 第2次栃木県再犯防止推進計画の素案について等 3件

委員からは、介護ロボットの導入支援や再犯防止の推進等について意見が出されるなどしました。



## ●農林環境委員会

付託議案: 栃木県水と緑の南摩の里設置及び管理条例の制定について等 5件  
報告事項: 栃木県農産物知的財産戦略の策定について等 6件

委員からは、県産牛肉の消費拡大等について意見が出されるなどしました。また、1月9日と10日には、市場調査のため現地視察を実施しました。



▲東京都中央卸売市場の説明を受ける委員

## ●経済企業委員会

付託議案: 令和6年度栃木県中小企業高度化等資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)、令和6年度栃木県電気事業会計補正予算(第2号)等 8件

委員からは、中小企業における価格転嫁の機運醸成や中小企業者等への経営再建支援について意見が出されるなどしました。



## ●県土整備委員会

付託議案: 宅地造成及び特定盛土等規制法第32条の規定に基づく特定盛土等又は土石の堆積の規模を定める条例の制定について等 8件

委員からは、燃料価格高騰により影響を受ける交通事業者に対する支援等について意見が出されるなどしました。



## ●文教警察委員会

付託議案: 栃木県公立学校職員給与条例の一部改正について等 5件  
報告事項: 令和7年栃木県警察基本姿勢及び重点目標について 1件

委員からは、学校設備の充実や県民生活の安全確保対策等について意見が出されるなどしました。



## 次期プラン検討会

県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」等に続く次期プランについて調査・検討するため昨年3月に設置した次期プラン検討会は、全議員検討会などを含む7回の検討会での議論を踏まえ、県議会としての提言を取りまとめました。報告書は、12月26日に神谷幸伸会長から日向野義幸議長に手渡されました。



▲写真は、左から中島宏副議長、日向野義幸議長、神谷幸伸会長、山形修治副会長

報告書は、県議会ホームページからご覧いただけます



## 県議会トピックス

### ○福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議長会

11月21日と22日に、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議長会が新潟県新潟市及び小千谷市において開催され、日向野義幸議長及び中島宏副議長が出席しました。

文化観光推進に資する先進的な取組について国から説明が行われた後、歴史や文化活動を生かした交流人口の拡大について、各県の取組の説明や意見交換が行われました。



▲本県の取組を説明する日向野義幸議長

### 表彰

第404回通常会議開議日(12月10日)に、地方自治功労等の功績により、岩崎信議員(在職20年以上)が、全国都道府県議会議長会、栃木県議会及び栃木県知事から表彰されました。



▲福田富一知事(右)から表彰を受ける岩崎信議員(左)

## U-18 高校生世代のギモン? もっとなるほど! 県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。



日向野義幸議長

**Q** 厚生労働省によると男女間賃金格差が最も大きいのは栃木県でした。これに対する認識と具体的な対策について教えてください。(18歳・足利市)

**A** 本県には賃金水準が高い職場が多いものの、当該職場において女性の業務領域に限られるなど、女性が十分に能力を發揮できていない状況があると思います。県では、男女が共に働きやすい環境の整備や女性がより一層活躍できる職場づくりを進めるため、県民意識の醸成を図るシンポジウムや企業へのアドバイザー派遣のほか、社外メンター制度による女性管理職の育成支援などに取り組んでいきます。

**Q** SNS内でのいじめや誹謗中傷などのインターネット上でのトラブルが学校でも増えています。対策を教えてください。

**A** 県教育委員会では、定期的なアンケートによるいじめの積極的な認知や、ネットパトロールによる誹謗中傷投稿の早期発見、SNSを活用した相談事業による悩み等の早期発見に努めるほか、いじめ・不登校等対策チームを学校へ派遣するなど、引き続き、各学校の組織的対応力の向上を図っていきます。



中島宏副議長

### 高校生世代※からの質問を募集します!

※栃木県にお住まい又は通学している概ね16歳から18歳までの方  
応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。  
たくさんの質問をお待ちしております!



## 県議会からのお知らせ

### 県議会のことをもっと知りたいあなたへ

栃木県議会を紹介する動画を新たに作成しました(YouTubeで公開中)!



小学生向け



一般の方向け

議会のしくみや県議会本会議の様子が小学生などにも分かりやすい映像になっているまる! ぼくも出演しているので、是非見てほしいまる!



県議会とちまるくん

動画はこちら↓



### 【議事堂ホールコンサートのお知らせ】

県民の誰もが利用しやすい「開かれた議会」を目指すとともに、文化振興の一環として、次回通常会議の開議日に、議事堂ホールコンサートを行います。多くの県民の皆様の御来場をお待ちしております。

- 日時: 2月18日(火)午前10時~10時30分
- 場所: 議事堂1階エントランスホール
- 出演者: 新井 啓泰 氏(ピアニスト)/栃木県交響楽団
- 演奏曲目: グリーク「ピアノ協奏曲イ短調」



▲昨年度の議事堂ホールコンサートの様子

※入場無料、事前申込不要、イス席140名(先着)、立ち見での鑑賞も可

【問い合わせ先】  
県議会事務局総務課  
☎028-623-3753

### 《次回通常会議の日程》

- 2月18日(火) 本会議 (開議、議案上程)
- 20日(木)、25日(火)、26日(水)、本会議 (質疑・質問)
- 28日(金) 常任委員会
- 3月 4日(火) 予算特別委員会 (総括質疑)
- 5日(水) 常任委員会
- 7日(金) 本会議 (採決)
- 13日(木) 常任委員会
- 18日(火) 予算特別委員会 (総括質疑)
- 19日(水) 常任委員会
- 24日(月) 本会議 (採決、散会)

※2月18日は午前10時45分開始予定。その他は午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は、県ホームページでご覧いただけます。  
※傍聴については、本会議は先着順、委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。